



2026 年 1 月 5 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 エ ヌ ・ シ ー ・ エ ヌ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 田 鎖 郁 夫  
(コード番号：7057 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 管 理 本 部 長 藤 幸 平  
(TEL 03-6897-6311)

### 連結子会社の社名変更に関するお知らせ

当社の連結子会社である株式会社 MAKE HOUSE は、以下のとおり商号を変更いたしましたのでお知らせいたします。

#### 1. 当該子会社の概要

商号	株式会社 MAKE HOUSE
本店所在地	東京都千代田区永田町二丁目 13 番 5 号
代表者	代表取締役社長 今吉義隆

#### 2. 新商号

新商号	株式会社 KINO BIM
-----	---------------

#### 3. 変更日

2026 年 1 月 1 日

#### 4. 変更理由

国内の BIM を取り巻く環境は、2026 年 4 月から予定されている建築確認申請における BIM 図面審査の開始、さらには 2029 年の本格的な BIM データ審査への移行など、大きな転換期を迎えております。こうした市場動向を背景に、当該子会社の専門領域である「BIM」を商号に採用することで、提供サービスの専門性をより直感的に伝えるとともに、市場における認知度の一層の向上を図ります。これにより、お客様や取引先様との円滑なコミュニケーションを基盤とした事業運営体制を構築し、さらなる事業拡大と企業価値の向上を目指すため、商号を変更することといたしました。

なお、本件に関する詳細につきましては、別紙プレスリリースをご参照ください。

以上

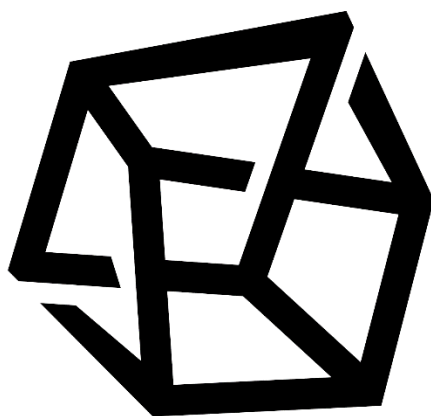
報道関係各位



2026 年 1 月 5 日

株式会社エヌ・シー・エヌ

**エヌ・シー・エヌグループ 株式会社 MAKE HOUSE は、「株式会社 KINO BIM」へ社名変更  
BIM による木造建築の DX 化を牽引するリーディングカンパニーへ**



**KINO BIM**  
WOOD & BIM, NEW STORIES

ロゴは木の構造と建築情報のデジタル化をイメージ。「木の」「BIM」を直感で感じられるようなデザインとした。

株式会社エヌ・シー・エヌ（東京都千代田区、代表取締役社長：田鎖郁男、以下エヌ・シー・エヌ）の 100% 子会社で、BIM を用いた木造建築のデジタル化を推進する、株式会社 MAKE HOUSE（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：今吉義隆）は、2026 年 1 月 1 日に社名を新たに「株式会社 KINO BIM（キノビム）」に変更いたしました。

2026 年 4 月からの BIM データによる建築確認申請の開始や、住宅のみならず非住宅木造建築の設計においても BIM 活用が盛んになる時代の到来を見越し、創業 10 周年を機に木造の BIM を推進する会社＝「KINO（木の）BIM」というシンプルで分かりやすい新たな社名とし、木造建築業界の DX 化を牽引するリーディングカンパニーとして邁進いたします。

※BIM

BIM とは Building Information Modeling（ビルディング・インフォメーション・モデリング）の略称。建築資産の情報を作成・管理するためのプロセスです。デジタル技術とツールを使い、設計、建設、運用、統合の 4 つの重要な段階を通じて資産を管理します。BIM は、優れた取組とセキュリティをデフォルトで定着させるのに役立ちます。

## ■ 社名変更の背景は、木造 BIM 時代の本格的な到来

株式会社 MAKE HOUSE は 2015 年の創業以来、「BIM で木造建築をひらく・つなぐ」をビジョンに掲げ、木造建築における情報のデジタル化を推進してまいりました。

国内の BIM を取り巻く環境としては、2026 年 4 月から建築確認申請の際に BIM 図面審査が開始される予定となっており、さらに 2029 年には本格的な BIM データ審査への移行が計画されています。

建築業界が大きな転換点を迎えるにあたり「KINO（木の）BIM」というシンプルかつ専門性を明確にした新社名のもと、木造建築の DX 化をさらに推進してまいります。

## ■ 株式会社 KINO BIM 主な事業内容

木造建築物の設計・生産工程の BIM 化（建築物の情報化）によって、これまでは連動していなかった情報を連動させ、業務効率化を通じて社会に貢献することを目的とし活動しています。

住宅を中心とした”木造”の分野はデジタル化が遅れていると思われるがちですが、木造建築の生産を支えるプレカットの技術は RC 造や S 造よりも実は進んでいます。生産の前工程である設計の情報化をすすめることで、設計と生産をつないでいくことが、株式会社 KINO BIM が提唱する“木造 BIM”の真価です。

株式会社 KINO BIM は BIM 技術を軸に、工務店、ハウスメーカー、設計事務所に向けて以下のサービスを提供します。

### 1. MAKE ViZ（メイクビズ）

BIM モデルを活用したビジュアル制作。建築パースや VR、日照シミュレーション動画等を迅速に出力。高度なプレゼンテーションを支援します。

### 2. MAKE DoC（メイクドック）

図面・申請代行サービス。基本設計から建築確認申請、実施設計図書の作成、LCA（ライフサイクルアセスメント）算定、各種補助金申請まで幅広く対応します。

### 3. 社内業務の BIM 化コンサルティング

各社の業務に最適化した BIM テンプレートの構築、運用設計、そして共通データ環境（CDE）の立ち上げをサポートします。

### 4. BIM 確認申請対応コンサルティング

社内業務 BIM 化コンサルティングだけでなく、国交省 BIM 推進会議の審査 TF（タスクフォース）への参画経験を活かし、行政や審査機関と連携した BIM 審査基準に対応した業務支援やソフト開発支援を行います。

## ■代表取締役 今吉義隆コメント

建築業界は今、BIM 図面審査の開始という大きな転換点にあります。また、CO2 削減という社会問題に対応するためこれからは住宅以外でも木造建築が増えていくことは間違いありません。木造建築が大型化・複雑化する中、従来の 2 次元的な図面化の手法ではミスや遅延を防ぎきれず、労働力不足にも対応が難しくなります。

私たちが推進する「木造 BIM＝木の BIM」（つまり社名そのもの）は、意匠・構造・設備各分野の専門ソフトを連携させ、整合性を担保しながら品質・コスト・施工・製造までを最適化するオープンな環境であり不可欠なインフラです。

そして、BIM によって建物の詳細なデジタルデータを保持することは、将来的な建物の維持管理を可能にし、資産価値向上にも直結します。

当社は今後とも木造 BIM 時代の到来に向け、誰にでもわかりやすく活用できる仕組みやツールを提供してまいります。



3D による建築プレゼンテーション「MAKEViz」の事例

## ■会社概要

### 株式会社 KINO BIM

代 表 者：代表取締役社長 今吉義隆

本社所在地：東京都千代田区永田町二丁目 13 番 5 号 赤坂エイトワンビル7階

設 立：2015 年 6 月 1 日

資 本 金：8,000 万円（2025 年 3 月末現在）

主 な 事 業： BIM 事業

U R L：<https://kino-bim.net/>

## ■会社概要

### 株式会社エヌ・シー・エヌ

代 表 者：代表取締役社長 田鎖郁男

本社所在地：東京都千代田区永田町二丁目 13 番 5 号 赤坂エイトワンビル7階

設 立：1996 年 12 月 11 日

資 本 金：3 億 9,109 万円 （2025 年 3 月末現在）

主 な 事 業：木造耐震設計事業、建築環境設計事業

U R L：<https://www.ncn-se.co.jp>

-----

**■本リリースへのお問い合わせ**

株式会社エヌ・シー・エヌ 企画室：木津・石渡

TEL：03-6897-6311（代） mail：[press@ncn-se.co.jp](mailto:press@ncn-se.co.jp)